

令和8年度（学び続ける教師を応援する）しまだい学校教員研修

※オンデマンド+対面（集合型）

研修名	共生を実現する学校について考える ～多様性（いろいろ）と凝集性（まとまり）の両立を目指して～						
資質向上に関する指標（文科省）	教職に必要な素養 特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応	プログラム指標 （しまだい）	子ども支援				
キャリアステージ	自立・向上期（1～10年目）	○	研修レベル	基礎（学部1・2年レベル）			
	探究・発展期（10～20年目）	○		応用（学部3・4年レベル）			
	充実・円熟期（20年目以降）	○		発展（大学院レベル）	○		
開設日	令和8年7月24日（金）	時間数	8時間	受講定員	25名		
会場	山陰教員研修センター （島根大学教育学部附属 義務教育学校前期課程に併設）	所在地	島根県松江市大輪町416-4				
授業形態	演習、講義（7月24日） オンデマンド教材（事前学習）	対象校種 （◎推奨）	幼	小	中	高	特
			◎	◎	◎	◎	◎
		対象教科	全教科				
実施方法	事前学習：オンデマンド 研修当日：対面（集合型）	対象職種	広く学校教育関係者				
担当講師	津多 成輔（島根大学教育学部 講師） 齋藤 英明（元島根大学教職大学院 教授）						
研修内容	学校では、発達上の特性、障がい、ジェンダー・性自認、外国にルーツのある人々の増加による文化間の相違等、配慮すべき要素が増加・多様化している。本研修では、こうした学校をめぐる多様化に通底する「共生」についての理解を主体的・対話的な学びによって深める。具体的には、「共生」に関する基本的な事項を概説した上で、書籍『多様性（いろいろ）と凝集性（まとまり）の社会学：共生社会の考え方』太郎次郎社エディタス）を講読し、討議を行う中で学校のあり方を考える。						
日程 ※研修の進み具合によっては、予定時間を変更することがあります。	時間	内容 ※研修中は適宜休憩をとります。					
	受講前(90分)	「共生」の理論（オンデマンド教材）					
	8:40～9:00	受付					
	9:00～9:10	オリエンテーション					
	9:10～10:30	『多様性（いろいろ）と凝集性（まとまり）の社会学』を読む （津多、齋藤）					
	10:30～12:00	「共生」について考える①（津多、齋藤）					
	13:00～15:20	「共生」について考える②（津多、齋藤、ファシリテーター）					
	15:20～16:00	学校教育における「共生」の可能性（津多、齋藤、ファシリテーター）					
	16:00～16:15	「実施後アンケート」記入・事務連絡 ※「研修の課題・振り返り」の記入は研修時間内で随時					
研修に関して各自準備するもの	特になし（※研修で講読する『多様性（いろいろ）と凝集性（まとまり）の社会学』は、購入する必要はありません。）						

事前課題	<ul style="list-style-type: none">・当日（7月24日）までに、オンデマンド教材を視聴の上、受講してください。・オンデマンド教材は教師教育研究センターホームページより入手してください。その際のホームページの URL 及びパスワードは受講決定後お知らせします。
その他	<ul style="list-style-type: none">・募集要項に記載の携行品等をご持参ください。・本研修は、受講者と講師あるいは受講者間の対話を中心に進めます。・講義の内容に関する質問等に、メールで対応します。 stsuda@edu.shimane-u.ac.jp まで、ご連絡ください。・当日の駐車場は、附属義務教育学校前期課程校庭です。南側入口からお入りください。